

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 19 日 (2015.3.19)

【公開番号】特開 2013-166818 (P2013-166818A)

【公開日】平成 25 年 8 月 29 日 (2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2013-046

【出願番号】特願 2012-29571 (P2012-29571)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 1/02 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 L 23/04 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 J 3/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/00

C 0 8 L 1/02

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 23/04

C 0 8 L 77/00

C 0 8 J 3/20 C E R B

C 0 8 J 3/20 C E Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 3 日 (2015.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セルロースナノファイバー (A)、熱可塑性樹脂 (B) 及び HLB 値が 8 ~ 13 である エーテル型ノニオン界面活性剤 (C) を含む分散液。

【請求項 2】

前記セルロースナノファイバー (A) が、染色されたものである、請求項 1 に記載の分散液。

【請求項 3】

前記熱可塑性樹脂 (B) が、ポリプロピレン、ポリエチレン及びポリアミドよりなる群から選ばれる少なくとも 1 種である、請求項 1 又は 2 に記載の分散液。

【請求項 4】

前記エーテル型ノニオン界面活性剤 (C) が、ポリオキシエチレンアルキルエーテル及びポリオキシエチレンアルキルフェノレートよりなる群から選ばれる少なくとも 1 種である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の分散液。

【請求項 5】

前記エーテル型ノニオン界面活性剤 (C) が、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル及びポリオキシエチレンポリオキシプロピ

レングリコールよりなる群から選ばれる少なくとも１種である、請求項１～３のいずれかに記載の分散液。

【請求項６】

前記エーテル型ノニオン界面活性剤（Ｃ）が、ポリオキシエチレンのモル数が４～９のポリオキシエチレンニルフェニルエーテルである、請求項１～３のいずれかに記載の分散液。

【請求項７】

請求項１～６のいずれかに記載の分散液から得られる樹脂組成物。

【請求項８】

（１）セルロースナノファイバー（Ａ）を染色する工程、  
（２）分散媒（Ｄ）中で、工程１において染色されたセルロースナノファイバー（Ａ１）、熱可塑性樹脂（Ｂ）及びＨＬＢ値が８～１３であるエーテル型ノニオン界面活性剤（Ｃ）を混合し、分散液を調製する工程、及び  
（３）前記分散液から分散媒を除去する工程  
を含む樹脂組成物の製造方法。

【請求項９】

前記分散媒（Ｄ）が、水又は水を含む水性分散媒（Ｄ１）である、請求項８に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項１０】

前記分散媒（Ｄ）が、水及び親水性有機溶媒を含む分散媒である、請求項８又は９に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項１１】

（１）分散媒（Ｄ）中にセルロースナノファイバー（Ａ）及び熱可塑性樹脂（Ｂ）を添加する工程、及び  
（２）ＨＬＢ値が８～１３であるエーテル型ノニオン界面活性剤（Ｃ）を添加する工程  
を順に有する分散液の製造方法。